

どうぶつこうえんニユース



Topics

トピックス

ポットベリー (偶蹄目・イノシシ科)

新年早々、子ども動物園内の子ども牧場ではポットベリー（ブタ）の赤ちゃんが誕生しました。お母さんは昨年の子ども動物園再オープンの時に新しく来た「チャオス」で、来た当初から太っていましたが12月になるとお腹が横に張り出し、おっぱいも大きくなり、妊娠の可能性が大きくなってきました。年を越して1月7日の朝、6頭の子ブタが生まれていました。子ブタたちは母親の横に寝ていましたが、お昼頃にはみんなでおっぱいを飲んでるのが見れて、僕たちは一安心しました。

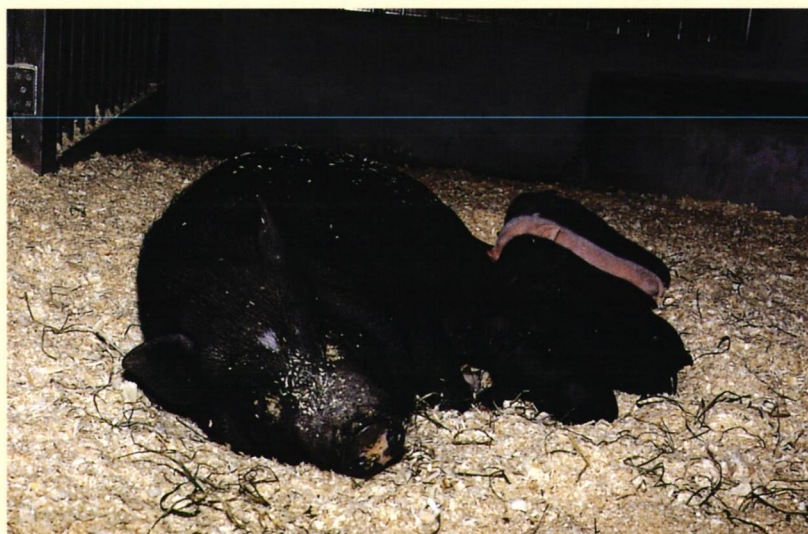
チャオスは子ブタたちの面倒見もよく、オス4頭、メス2頭の子ブタたちは順調に育っています。2月になると体重も約5倍に増え、暖かい時は放飼場に出て走り回っています。

ポットベリーというブタは、ベトナム原産のブタを実験動物として大きくならないように改良された品種で、最近では人に馴れやすいペットとしてア

メリカではブームを巻き起こしました。ちなみにポットベリーとは“太鼓腹”という意味で彼らのお腹をもじったようです。

3月になればポットベリーの子どもたちも暖かい太陽の下、元気に走り回っていると思いますので、是非ご覧下さい。

濱田 昌平 (Masahira Hamada)



目次

CONTENTS

表紙【子ども動物園】	①
トピックス【ポットベリー】	②
カピバラの名前が決まりました	
【ゴンとノン】	③
特集【ジャージー動物園を訪ねて】	④
動物公園の動物【ワオキツネザル】	⑥
飼育よもやま話	⑥
動物公園日誌から【'01.12/1〜'02.1/31】	⑦
編集後記	⑦
裏表紙【ワオキツネザル】	⑧

表紙の説明 子ども動物園

昭和60年4月の動物公園開園に伴いオープンした「子ども動物園」は、15年余が経過して施設の老朽化がひどくなり、また、学校の「生活科」や「体験学習」の受け入れなど、時代のニーズに対応するため、平成12年4月から1年半かけて改修工事を行い、平成13年10月にリニューアルオープンしました。新しい「子ども動物園」は、展示動物のわかりやすい解説板やクイズ板を数多く設置したり、園路より直接飼育作業が見れるなど、楽しく見学できる工夫がしてあり、また、障害者用のトイレや授乳コーナーの設置など、来園されどなたも、より快適に過ごせるよう改修されました。さらに大型インコやゾウガメなど希少動物の、積極的な繁殖を考え動物舎も新たな試みです。

新しい「子ども動物園」はどこも人気がありますが、なかでも「コンタクトコーナー」が一番人気で、日曜日ともなると順番待ちの長い行列ができてしまうほどのにぎわいです。
秦 舜二 (Shunji Hata)

動物飼育数

平成14年1月末現在の飼育数

哺乳類	64種	404点
鳥類	80種	296点
爬虫類	7種	24点

Classified number of animals
as of 31. Jan. 2002

両生類	1種	1点
魚類	0種	0点
総計	152種	725点

カピバラの名前が 決まりました!!

今年1月2日から31日にかけて、子ども動物園では「カピバラ」の名前の募集をしていましたが、このほど、この名前が決まりました。

2頭は昨年10月に、子ども動物園にやってきました。オスは伊豆シャボテン公園から、メスは遠く長崎バイオパークからです。

たくさんのお友達から名前の候補を投票してもらいましたが、

- ① 誰にでも覚えられる、呼びやすい名であること
- ② オスとメスでバランスがとれていること
- ③ 応募数の多いもの

を基準にカピバラたちの意見も聞いて(!)、決定しました。

オスは、「ゴン」、メスは「ノン」です。

投票総数は、1,487でした。たくさんのご協力、ありがとうございました。

お互いに子ども動物園に来て1ヶ月ほどは、あまり仲良しになれませんでした。今はすっかりうちとけています。暖かくなると、きっと2頭で泳いでいる姿がご覧になれるでしょう。

どうぞ、ゴンとノン、よろしくお願いします。



子ども動物園での団体指導のお知らせ

1. 対象

幼児～小学2年生までの10名以上の団体及び障害をおもちの場合は中学生までの団体

2. 内容

「コンタクトコーナー」でのテンジクネズミやマウスなど小動物と過ごし、給餌もできます。

小学生は、ご希望に応じて「ヤギとヒツジの広場」「ウサギの広場」「ステージ」なども利用した特別プログラムもあります。

3. 時間・曜日

12・1月を除く火～金曜日（祝日は行ないません。）10:30～12:00、13:00～14:00、14:30～15:30の時間帯で、人数に応じて指導時間を決めます。小学生の特別プログラムは木・金曜日の午後のみに行ないます。

4. 手続き

お電話ないしFAXで、人数と希望日時をご予約下さい。事前の打ち合わせが必要となります。なお、打ち合わせは土・日・祝日は避けて下さい。

問い合わせ先

飼育課 団体指導係

TEL 043-252-7577
FAX 043-255-7116

ジャージー動物

フランスにほど近い、イギリス領チャンネル諸島の「ジャージー島」に、ジェラルド・ダレルが築いた小さな動物園があります。牛のジャージーという品種はこの島の原産ですし、中高生が学校で身に付ける「ジャージ」は、ジャージー織りといって、やはりこの島で開発された織物が元になっています。というわけで、以外に私たちになじみの深い島だと言えます。



ジャージー島の場所
ジャージー動物園はこの島の東北に位置します。



インターナショナル・トレーニング
センターの入口

に立ち寄ってみました。

エキサイティングな挑戦

ジャージー動物園の魅力は、何といても「常に先を見通した挑戦がある」という点です。たとえば、マダガスカル・モーリシャス・南米といった、見過ごされがちな、しかし独自の進化をとげた動物相に着目して、その主だった種を守るために、



ハゴロモヅル

繁殖を動物園で試み、野生に返す仕事を続けています。キツネザルの仲間・アイアイ・モーリシャスバト・ゴールデンライオンタマリンなどはその代表種です。また、国際トレーニングセンターの活動は、ニューヨーク・ブロンクスの野生生物保全協会(WCS)がここ10年ほど力を入れている保全教育プログラムにも先だって、70年からずっと継続的に行なわれています。このセンターを卒業して、それぞれの国で野生動物保全に携わる人々は数百人に登ります。

95年にオランウータンの展示施設を見て、その飼育環境だけでなく、教育的メッセージが伝わるような工夫のなされた展示館に本当にびっくりしましたが、昨年のもっとびっくりしました。シロテナガザルとの同居に踏み切っていたのです。



シロテナガザルとボルネオオランウータンの同居

オランウータンの家族とテナガザルも家族は、互いにトラブルもなく、悠々とブラキエーションしたりアカンボウの世話を焼いたり、実に楽しげでした。展示館も手が入れられていました。写真を使った解説と、イラストを使った解説とではどちらが利用されやすいのかを調べ、解説パネルの内容と方法の更新が計画されているところでした。いったん作ってしまえばそれで終わりということではないところが、この動物園の大きな魅力です。

奥まったところは、もともと湿地でしたが、そこの自然を復元してたくさんの虫や魚を呼び戻し、その自然の中でハゴロモ

動物園を訪ねる



エデュケーション・センターの入口では、タッチテーブルがあります。密猟の告発をしています。ボランティアの方が質問に答えてくれます。

ヅルなどの繁殖を試みていました。ここは同時に、園で使用した水のリサイクルセンターともなっています。

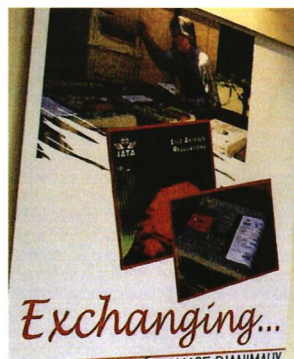
メッセージを伝えるために

また、エデュケーションセンターでは、毎日数学級の子どもたちへの、年齢に応じた楽しいプログラムが行なわれていました。これは、ここ数年の間に行なわれるようになり、ジャージー島の小学校すべてを対象にしているとのこと。パートタイマーとボランティアの助けも借りて、エデュケーションセンターの活動はとても活発です。センターの一角には、ダレルが愛用したフィールドノートと双眼鏡、標本ケースが展示されていて、自然をこよなく愛したダレルの姿が目につかびます。

そして何と言っても2000年にオープンした「ファースト・インプレッション」という施設は圧巻です。動物園の入り口を入るとすぐ左手にこの施設があり、来園者はまずそこで南米のメガネグマとハナグマに出会うことになります。部屋の中・外をすばしっこく走り回り、ロープを伝い、ロープのあちこちに仕掛けられた餌を探すハナグマや、仲間と遊びあうメガネグマたちの仕草を見ながら、映像やパネルで紹介されるジャージー動物園の役割や目指すことを知ることになります。実際の南米産



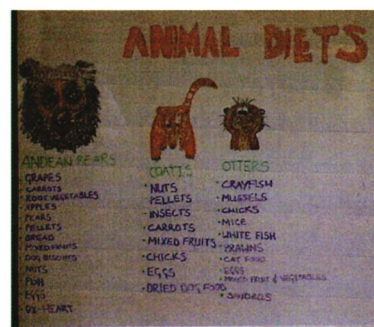
メガネグマの運動場
上のロープを伝ってアカハナグマが時々やってきます。



「ファースト・インプレッション」館でのパネル類

左：動物交換の仕事について

右：メガネグマとアカハナグマ、コツメカワウソのエサを紹介するユーモラスなパネル



動物の展示が、南米における保護プロジェクトの紹介と重なるようにして、この動物園の目指すことが示されています。

運営

実は、この動物園は全くの私設で、その収入は「入園料：40%」「寄付：25%」「財産収入：20%」「会員料（トラストの会員として登録してこの動物園の活動を支える）：10%」であり、支出のほとんどは、動物飼育を含む管理と教育活動と広報・研究・海外の保全活動の支援となっています。行政からの資金的バックアップが「寄付」の中に入っているのかどうかはわかりませんが、決して多くはないと思われます。

そのような状況で、園としての方針は「海外での保護プロジェクトの拡大」です。じっさいに何をしているのか、しようとしているのかその展望を示しながら、社会に働きかけている姿勢がすばらしいと思います。

また数年後、行ってみたいと思います。ロンドンから飛行機でわずか1時間です。みなさんも是非どうぞ。

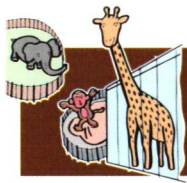
並木美砂子 (Misako Namiki)



園内でのフェイス・ペインティング。
見本は10種類位あります。



動物園入口に示されたキーパートーク（飼育係の話）の時間割。特に土・日でなくても毎日ある。



動物公園ニュース (動物公園の動物)

ワオキツネサル (Lemur catta)

しましま模様の尾をした“かわいい動物”といえばあなたはなにを思い浮かべますか？レッサーパンダやアライグマ……お忘れじゃございませんか？それが今回ご紹介する“ワオキツネサル”です。

ワオキツネサルは、アフリカ大陸の東海岸にあるマダガスカル島の乾燥した森や川辺の林に数頭～20数頭の群れで、果実や芽、葉、昆虫などを食べて生活しています。体重は2.5～3.5kg、尾は体よりも長く60cm程になります。この自慢の尾が名前の由来となり、輪尾（ワオ）キツネサル、白黒の輪の尾をしたキツネ似のサルという意味です。キツネサルの仲間は、2亜科6属14種いますが、すべてマダガスカルにしか現生せず、逆にマダガスカルにはキツネサルの仲間以外のサルは全く生息していません。

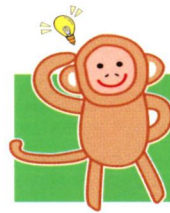
また、サルの仲間は大きく区別すると「原猿」と「真猿」に分けることができ、キツネサルの仲間、もちろんワオキツネサルも原猿に分類されます。原猿とは、サルのなかまでもその祖先と良く似た特徴を備えているグループで「表情」を感情の伝達手段として用いる事の多い真猿（表情が豊か）とは異なり、コミュニケーションの手段を、声や身ぶり、そして匂いに大きく頼っています。動物園でも、マーキング（匂いづけ行動）や数種類の鳴き声を聞くことが出来ます。よく耳にするのが「ミャー」というネコのような鳴き声、それにしぐさもネコに似て

いることから、ワオキツネサルは別名ネコキツネサルとも言われています。

当園では、昨年11月19日に双子が誕生しました。仔がかわいいのはいうまでもありません。ワオキツネサルが、美しい尾をぴんと立て地上を優雅に歩く姿、木から木へと飛び移るすばらしい跳躍能力、そして、とてもユーモラスな日光浴の仕方。それはまさしく一見の価値あり！あなたもきっとワオのとりこになるはずです。



中村 彰宏 (Akihiro Nakamura)



飼育よもやま話

動物の種名は難しい？

動物園の飼育係は動物の様子を確認などのため園内を巡回していますが巡回中にはお客様の声を小耳にはさむこともあります。その声のなかには、動物の名前ひとつ取っても人に説明するのは難しいと考えさせられることがあります。今回はその話を紹介します。

動物園では展示している動物の前に、動物の種類などを書いた説明板があり、お客様はこれを見て動物の種類を知ることが出来ます。この説明板に書いてある名前は通常「稚名」というものです。この種名が「アジアゾウ」でしたら皆さんは「これはアジアにいるゾウだな」とすぐに理解できると思います。しかし「モウコノウマ」だったらどうでしょうか。お客様は蒙古という地域があるのはご存知なので、「これは蒙古の馬だ」と思う方が多いようです。しかし実際には「蒙古野馬」で蒙古地方に生息する野生の馬という意味です。種名はカタカナで書くのが通例なのでこのような誤解が起きることがあります。当園では対策としてモウコノウマの場合漢字でも表記しています。

漢字表記で解決すれば良いのですが、そうはいかない動物もいます。「アカハナグマ」の場合がそうです。お客様の中にはこの動物を見て「鼻が赤くない」と言う方がいます。赤い鼻の熊と思われるようですが、「アカハナグマ」は赤っぽい色の鼻熊ですから、鼻は赤くありません。ハナグマは鼻が長いところに名前の由来があります。この動物を仮に漢字で書いても「赤鼻熊」となって解釈は赤鼻の熊なのか、赤い鼻熊なのか二通りのままです。その上ハナグマはアライグマ科なので説明板の科名を見てもさらに混乱するのではないのでしょうか。巡回中につい頭を悩ませてしまいます。

こんなことを書いてきましたが、以前展示していた「アオミミキジ」という鳥が「シロミミキジ」に展示換えされるまで「ミミキジ」という種類を知らず、青い耳の雉だと思っていたのは何を隠そう私です。ああ飼育係として恥ずかしい。

浅野 洋之 (Hiroyuki Asano)



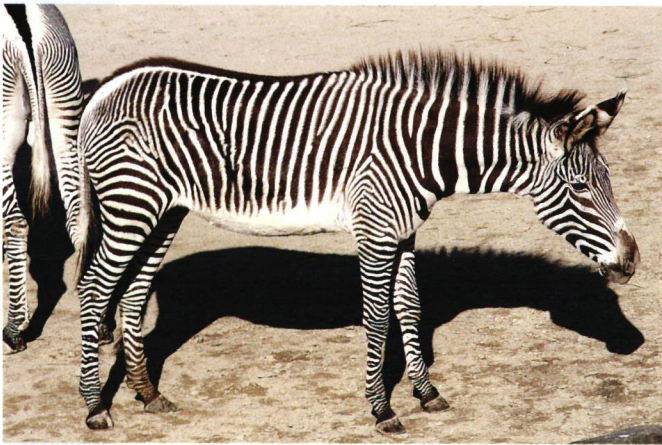


動物公園日誌から

From Zoological Park Diary

'01年12月1日~'02年1月31日

- 12月2日 ヒワコンゴウインコ（雌） 検疫明け
12月3日 ギンケイ（雌1） 死亡
鳥類 ニューカッスル予防接種実施（4日も）
12月4日 検疫中マンドリル ツベルクリン接種実施
12月6日 チンチラ（雄1） 腸炎にて死亡
12月10日 ムフロン舎 金網交換実施
テンジクネズミ 2頭 検疫明け
12月11日 京都市動物園よりグレービーシマウマ（雌1） 借受にて
新着



- アルダブラゾウガメ（雌1） 肺炎にて死亡
12月12日 中学生職場訪問あり
12月13日 エミュウ 産卵あり
12月14日 チンチラ（雌1） 検疫明け
12月17日 マレーバク 破傷風予防接種実施
12月18日 ペンギン、ペリカン 体重測定実施
12月19日 ゾウ舎 扉チェーン修理実施
12月20日 ウマ 5頭削蹄実施
12月21日 コサンケイ 5羽 マイクロチップ埋込実施
12月25日 カピバラ 名前の募集を飼育センターにて実施中
テンジクネズミ 3頭 繁殖
12月26日 ラクタ舎 放飼場仕切柵の工事
12月28日 シバヤギ 妊娠の疑い 隔離する
12月29日 ウマ 破傷風予防接種実施 来年1日まで休園
12月30日 テンジクネズミ 3頭 繁殖
1月2日 平成14年 本日より開園
1月4日 ゲルディー 駆虫剤投与
テンジクネズミ 6頭繁殖
フンボルトペンギン 翼帯交換実施
1月6日 エミュウ 産卵あり
1月7日 ポットベリー（ブタ） 6頭 繁殖



- ヒワコンゴウインコ 1羽 死亡
マンドリル（雌1） 検疫明け
1月9日 草原ゾーン 放飼場植栽追加する
1月10日 マーモセット 前頭駆虫剤投与
コツメカワウソ 交尾行動みられる
1月11日 フンボルトペンギン 抱卵中の卵 水没してしまう
1月12日 7日出産ブタ 子ども体重測定実施
アジアゾウ マウントみられる
1月14日 ペルシュロン（ウマ） 来園者の胸を軽く咬んでしまう
1月15日 ゴリラ 放飼場アリ塚一部壊されてしまう
1月16日 中学生職場訪問あり
1月17日 アルマジロ 床敷交換
1月18日 ショウガラゴ マイクロチップ埋込実施
1月20日 子ども動物園のマウスに来園者 手を咬まれる
1月21日 イヌワシ 巣台へ巣材を追加する
カワウソ、ビーバー放飼場の土交換実施
1月23日 中学生職場訪問あり
ペンギン、アシカ舎 ポンプ点検実施
1月25日 オジロワシ マイクロチップ埋込実施
病院内スクージングケージ 修理実施
1月28日 パラワンコクジャク（雌1） 肺出血にて死亡
1月30日 クロミミマーモセット 繁殖（1頭は人工へ）
エミュウ卵 フ卵器へ
フンボルトペンギン 産卵あり
1月31日 シロガオマーモセット 3頭 繁殖

牧野 辰男（Tatsuo Makino）

編集後記

ようやく寒さも一段落つき、春の雰囲気を感じられませんが皆様いかがお過ごしでしょうか。

動物公園では春の行楽シーズンを控え、色々なイベントを用意してますので、ご家族や友達同士で3月下旬から見頃となる桜を見ながら、お弁当を食べたり、動物を見たり、ちょっとしたピクニック気分で楽しいひと時を過ごしてみませんか。

次回の発行日は6月1日です。

平木 利幸（Toshiyuki Hiraki）



ワオキツネザル



Information

4月・5月の 催し物一覧

- ★ 4月14日㊦ バルーンアートショー
- ★ 4月21日㊦ ワンポイントウォッチング(マレーバク)
- ★ 4月29日㊦ ウンチ当てクイズ
- ★ 5月4日㊦・5日㊦・6日㊦ 親子で学ぶ動物教室
- ★ 5月12日㊦ 愛鳥週間特別講演会
- ★ 5月19日㊦ ゆかいな森の音楽会
- ★ 5月26日㊦ ワンポイントウォッチング(フンボルトペンギン)